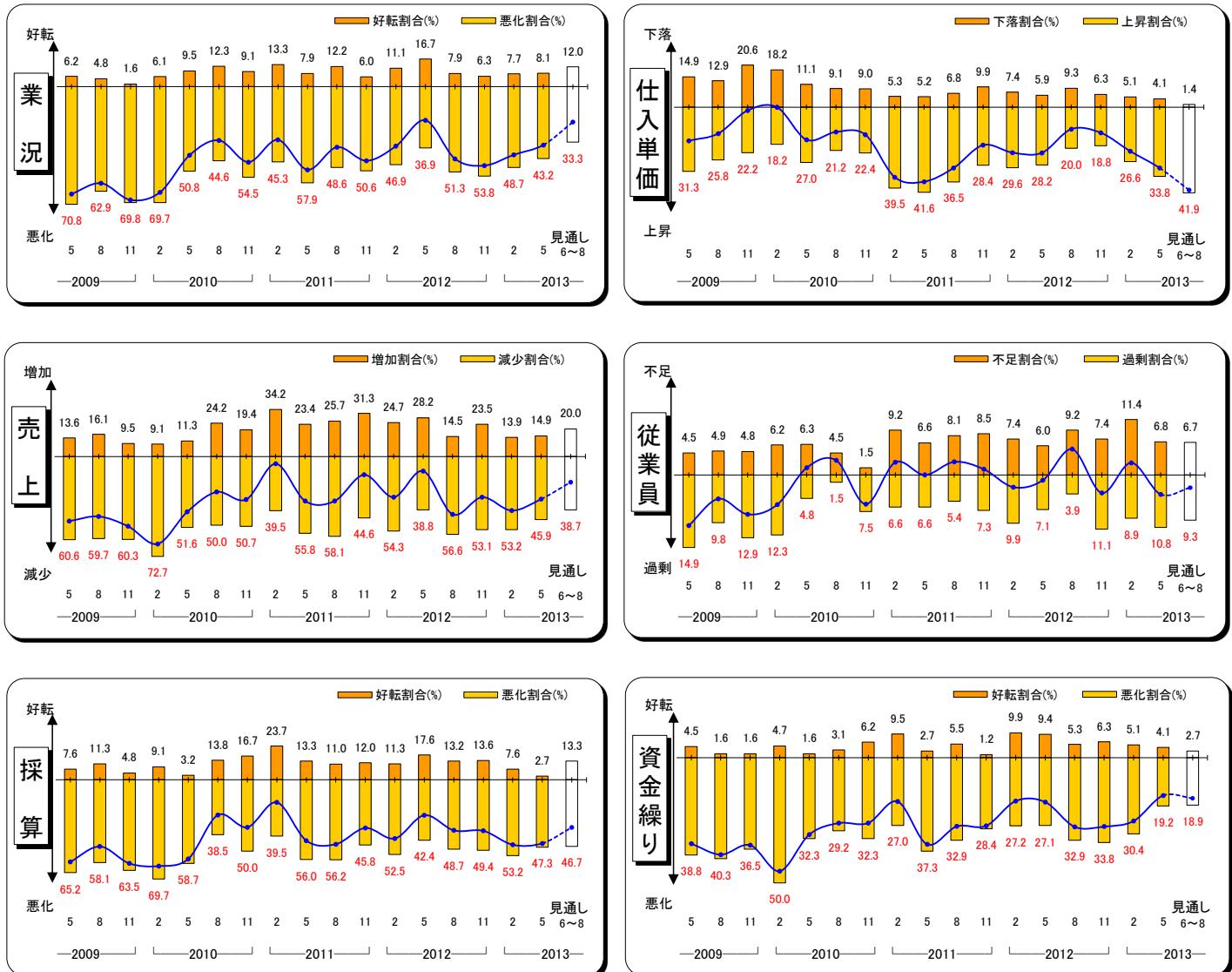


【小売業】①



【小売業】②

企業の声（順不同）

百貨店・スーパー	高額商品の消費活性化に向けて、夏以降に該当商品をクローズアップする予定。
呉服・服地小売業	仕入単価の上昇分を簡単には小売価格に反映して値上げできないため、利幅は減少している。
男子服小売業	少しずつ景気が良くなる方向に向かっていることは株価などからも感じ取れます、我々の業界ではまだその気配がなく、景気が良くなるのは時間がかかると思います。今後に期待しています。
酒小売業	一部の商品の値下げもある。
料理品小売業	地域経済に勢いがついたとは、あまり実感できません。東京への納品は大幅に増加していますが、地元消費は低下傾向です。
米穀類小売業	とても残念ですが商売は成り立っておりません。
自動車部分品・附属品小売業	円安・株高等で景気回復傾向にあるが、個人消費増加までは至っておらず、小売業としての景気回復感はまだ感じられない。
二輪自動車小売業	3月8日(金)に開かれた通常国会予算委員会の代表質問の際、日本維新の会は国土交通省に対して二輪駐車問題について質問した。台湾の台北と比較して、東京など都心部では二輪車駐車場の不足や取締りによる官製不況が要因で、かつては200万台を超えていたオートバイの年間販売台数が今や30万台しか売れないというような時代になっている、との現状を訴えた。同問題に対し、今後は国土交通省で検討するとの答弁があった。
陶磁器・ガラス器小売業	このところの天候不順で売上が伸びない。アベノミクスに期待したい。
医薬品小売業	明るい見通しがつきません。薬品の販売ルートがインターネットに多く流れる見込みの上、TPPの関係から保険調剤へのシワよせが強まると思われます。業況の先行きは決してよくなる気配がありません。
医薬品小売業	アベノミクスの効果はなし！全国のあなたの街の昔からある商店街に効果があったか？全国、金太郎飴のように変わり映えのない商店街では味がない！
燃料小売業	需要低下・供給過剰の下での円安による原材料価格の上昇（ただし、5月は多少原油安で安くなった）で、利幅は圧縮の一途。アベノミクスによる需要の拡大については未だ効果が出て来ていない。
紙・文房具小売業	日本全国の企業が、政府の施策を理解し、協力しないとアベノミクスの効果は出ないと思う。
紙・文房具小売業	マスコミや雑誌等で取り上げられて、文具ブームの様に思えるが、その実体はあまりに寂しい。ごく一部の商品が取り上げられた時のみ多少売れるものの、あとは在庫として残ってしまう。文具直販業者が、価格等においても我々がとうてい太刀打ち出来ない値段を設定してきているため、官庁や一般企業向けの商品価格も下がる一方である。また、円安の影響については、中国、ベトナム等で作られる商品が多いので今後価格が上昇すると思われる。
スポーツ用品小売業	円安の悪い面が出ています。輸入品の仕入価格上昇分の価格転嫁が課題です。業界内では勝ち負けがはっきりしてきています。今年は色々動きがあるかも知れません。
時計・眼鏡・光学機械小売業	日銀は政府の発行する7割にあたる国債を銀行から購入し、市場に流しているそうだ。債券は外国へシフト、もしくは国内株式へシフトしており、円安・株高になっている。どうやら日本の経済市況は残念ながら我社の業績とは無関係のようである。
工業薬品・理化学機器等小売業	デフレからようやく脱却し、円安傾向になり、景気の上昇のきざしが見えはじめている。その事は良い事だが、中小企業への影響はまだまだ先の感じがする。全体的に賃金の上昇がないと、本当に景気が良くなつたと思えない。